

PRESS RELEASE

2017. 4. 7

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第42回県内12信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年10月以降、毎四半期ごとに県内12信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,190社にアンケート調査を実施し、1,173社から得た回答（有効回答率98.6%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感はほぼ横ばい、先行きは悪化」

【概況】

平成29年1~3月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（平成28年10月～12月「以下同」）の▲9.2から▲8.7へと僅かながらマイナス幅は縮小し、景況感はほぼ横ばいとなった（以下「マイナス幅の縮小」を「改善」、「マイナス幅の拡大」を「悪化」という）。

業種別にみると、建設業が6.3ポイント（▲3.8→2.5）、製造業が1.2ポイント（▲6.2→▲5.0）の改善がみられたものの、サービス業が▲5.1ポイント（▲3.9→▲9.0）、不動産業が▲4.2ポイント（3.1→▲1.1）などで悪化がみられた。

これを地区別にみると、西部地区では改善したものの、東部、中部地区では悪化した（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも依然として人手不足感は強いものとなっている。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2015年				2016年				2017年	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6(見通し)
東部地区	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲18.8	▲13.9
中部地区	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲10.4	▲14.2
西部地区	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲2.9	▲9.0
県内計	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲8.7	▲11.1

なお、平成29年4～6月の業況見通しは、東部で4.9ポイント（▲18.8→▲13.9）と改善見通ししているものの、中部で▲3.8ポイント（▲10.4→▲14.2）、西部で▲6.1ポイント（▲2.9→▲9.0）と悪化見通しをしていることから、県全体では▲8.7から▲11.1へと、▲2.4ポイントの悪化予想となっている。

■東部地区

東部では、卸売業では6.4ポイント(▲38.7→▲32.3)、サービス業では3.8ポイント(▲15.1→▲11.3)改善がみられたが、その他の業種ではいずれも悪化(製造業▲1.0→▲4.9、小売業▲31.0→▲36.8、建設業(▲3.6→▲10.5、不動産業9.4→▲28.1)したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲13.0から▲18.8へと▲5.8ポイント悪化した。

製造業

業況は、売上、収益の減少、原材料価格の上昇から悪化している。また、人手不足感も高いものとなっている。

今後の見通し(平成29年4~6月期・以下同)としては、原材料価格が上昇する見込みから、業況の悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・販売量は増加傾向にあるが材料高騰により利幅は薄い。 (生コン製造)
- ・仕入値の上昇が引き続き続いている状況、採算の取れる受注確保に努力している。 (精密モータ部品製造)
- ・設備の老朽化が進んでいるが、先行きの不安から設備投資に踏み切れない。 (プラスチック製品)
- ・受注は堅調であるが人手不足。設備更新により合理化を図りたい。 (紙加工品)
- ・昨年12月より受注が大幅増加し、残業と休日出勤で対応している。 (金属加工)
- ・機械化が難しい業務内容であるため、労働力を確保するためにも、受注単価の引上げに注力し、賃上げ等の労働環境の改善に努めている。 (自動車用検査治具)
- ・人手不足のため採用活動に尽力しているが、思うように人材が集まらない。 (加工紙・板紙)

卸売業

業況はやや改善しているが、業況DIの悪化水準は高い。

今後の見通しは、売上額、収益とも好転の見込みで、業況は回復を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・海外(特に中国)との単価に開きがあり、故紙自体の確保に苦慮している。 (製紙原料卸)
- ・販売先が大手メーカーのため量的には安定しているが、その分、単価引下げ要請も多い。 (機械・工具・部品卸)
- ・第二東名関連・公共工事で安定しているが他地区からの進出で競争激化を予想できる。 (建設資材卸業)
- ・原材料の漁獲高の減少で仕入価格高騰により利益が減少している。 (海産物卸業)

小売業

業況は、大型量販店との競合などにより、売上、収益とも減少し悪化している。

今後の見通しとしては、売上額、収益とも下げ止りつつあり、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・市内近郊に大手スーパーが多数あり、若い世帯を中心に顧客の流失が進んでいる。 (食料品小売)
- ・大型量販店との競合、固定客の高齢化による売上減少が続いており、経営環境は厳しい(衣類・身の回り品)
- ・フェイスブック・インスタグラム等により他県の顧客を確保し、受注も増えているが、注文に対し生産が追い付かない。 (洋菓子製造・販売)
- ・大型量販店より迅速な対応・きめ細やかなサービスで差別化を図っている。 (電気製品販売)

サービス業

業況は、売上額、収益とも増加していることなどから、改善している。人手不足感は依然として高い。

今後の見通しとしては、売上額、収益ともに減少し、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・富士山世界遺産センターの開設による観光客増加に大きな期待をしている。 (旅客運送)
- ・車検シーズンが到来するが、昨年程度の見込み。当面は経費削減で凌ぎたい。 (自動車整備)
- ・人材確保が問題、ネイル・まつげ等の美容に人材が流れている。 (美容院)
- ・顧客の絶対値が減少しているなか、同業者との競合が激しく経営環境は厳しい。 (飲食業・パチンコ店)
- ・パート社員の高齢化で退職が予想されるが、新たな人材を募集しても人が集まらない。 (宿泊業)
- ・人材不足解消のため、台湾より大学生のインターンを4名受け入れている。 (宿泊業)

建設業

業況は、売上、収益とも伸び悩んでおり、悪化している。

今後の見通しとしては、売上額、施工高とも減少し、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・女性及び高齢者の活躍を促進したいが、業種的に活躍できる分野が限られてしまうため、人材に偏りが生じる。 (総合建設)
- ・人手の確保に苦労しており、工事監督がおらず受注を取りたくても取れない状況。 (土木建築業)
- ・公共工事は増加傾向にあるが同業者との競合により利幅は低下している。 (管工事業)
- ・第二東名・その取付道等の影響で移転住宅建設の受注が増加傾向。 (土木建築業)

不動産業

業況は、売上、収益とも減少しており、大幅に悪化している。

今後の見通しについては、売上、収益とも回復し、業況は好転を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・店舗やテナントの空きが目立ち、需要も停滞している。 (不動産仲介)
- ・大型ショッピングモールの出店もあり情報力強化して営業を図る。 (不動産仲介業)
- ・販売用不動産及び人手等が不足しているものの、売上・収益ともに安定して推移しており、今後もしばらくは大きな変化はなく推移する見込み。 (不動産仲介)
- ・住宅ローンの更なる金利低下もあり、宅地分譲は順調に推移している。 (不動産販売)
- ・後継者不足により市街化区域内の農地売却の相談が多くなっている。 (不動産仲介・売買)

■中部地区

中部では、不動産業の業況DIが引き続きプラス(45.5→37.5)であったほか、小売業が7.0ポイント改善(▲33.3→▲26.3)したものの、サービス業が横這い(0.0→0.0)、その他業種はいずれも悪化(建設業5.0→▲13.6、卸売業9.5→▲27.8、製造業▲1.4→▲8.8)したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の0.6から▲10.4へと▲11.0ポイントの悪化となった。

製造業

業況は、売上は増加したものの、収益は減少しており悪化した。

今後の見通しとしては、収益の増加などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・お茶については、ペットボトルの普及や若年層のお茶離れにより、厳しい状況が続いている。新製品の開発や営業強化に注力し、同業者との差別化を図っていく。 (製茶業)
- ・原材料については価格下落傾向にあり、小売店撤去により改善傾向にある。 (魚肉練り製品製造業)

卸売業

業況は、売上、収益ともに減少しており業況DIがマイナス化するなど、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、業況は更なる悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・収益性重視への経営方針転換が軌道に乗り、利益率の高い海外仕入による売上が安定してきているが、仕入価格の高騰により収益がやや減少した。 (水産物卸売業)
- ・取引先の減少に伴う売上減少が課題となっている。 (酒類卸売業)

小売業

業況は、販売価格の上昇などから改善している。

今後の見通しとしては、引き続き販売価格の上昇を見込むものの、業況の悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・各店舗での収益状況は異なるが、全体での利益は安定して計上しており、業況は安定している。(スーパー)
- ・利益率の高いタイヤの売上が天候に左右される為、昨年比は売上増加しているが、車離れによるカー用品の販売が伸び悩んでいる。 (カー用品販売業)

サービス業

業況は、売上、収益が僅かに改善したことから、横ばいとなっている。

今後の見通しとしても、業況は横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・既存店舗の内装リニューアルで集客を増やしたいと考えている。 (飲食業)

建設業

業況は、売上、収益の減少から業況D Iがマイナス化するなど、悪化している。

今後の見通しとしては、売上、収益ともに減少を予想していることから、業況は更なる悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・公共工事が少なく、民間工事の獲得に努めているが、地元企業の設備投資意欲が低迷している。 (総合建設業)
- ・寺社仏閣の受注をメインに行っていきたいが、営業等に尽力するも伸び悩んでおり、一般建築の受注が大半を占めている。 (建築業)

不動産業

業況は、売上、収益ともに横ばいとなっているが、業況D Iのプラスを継続している。

今後の見通しとしても、業況は横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・震災以降動きの少なかった市内物件も沿岸部以外には動きも出始めている。今後は、平成31年の消費税増税による駆け込み需要を見込み、商品土地の確保を積極的に行っていく。 (土地開発・分譲販売)
- ・住宅については、完全なる供給過剰現象により、売り方に工夫をする時代になった。 (不動産販売)

■西部地区

西部では、サービス業が▲16.3 ポイント悪化 (6.1→▲10.2) したものの、その他業種はいずれも改善（製造業▲8.9→▲4.3、卸売業▲13.4→▲7.3、小売業▲23.6→▲16.4、建設業▲6.1→15.9、不動産業▲ 9.1→9.1) したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲9.6 から▲2.9と6.7 ポイントの改善となつた。

製造業

業況は、自動車関連の受注好調を受け、改善となった。

今後の見通しとしては、売上、収益の減少から、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・自動車部品の輸出好調が見られたが米国のトランプ政権が発足後、先行き不透明感は拭えず動向を注視している。
(自動車用部品製造)
- ・大手自動車メーカーの好調により、当社も忙しい状況が続いている。
(自動車製造)
- ・業種的に冬場の受注は低調に推移している。今後は原材料が高くなる予想。
(ペットボトル)
- ・高齢化に伴い人員の減少、若手社員の育成不足が顕著である。技術者の育成には特に苦労している。
(建築用部材製造)
- ・人員不足のため、その確保を重要視している。
(プレス板金)
- ・外国人従業員が1名いるが、10年以上勤務していても文化的な面ですれ違いがあるため、外国人の雇用には慎重になってしまふ。
(金属プレス)

卸売業

業況は、販売価格の上昇により改善した。

今後の見通しとしては、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・年々、肥料の取扱量は減少してきている。その他の商品で売上の柱を育てたい。
(肥料農薬)
- ・業況にあまり変化は見られないが売上は減少傾向にある。経費削減に注力。
(牛乳、乳製品)
- ・食肉においてはブラジル等の風評被害が出ている。
(農畜産物卸売業)
- ・仕入価格に大きな変動はないものの売上は若干減少傾向。
(化学製品卸売業)
- ・自動車部品関係の注文増加により、工具の売れ行きが好調である。
(一般機械器具)

小売業

業況は、販売価格の上昇により改善した。

今後の見通しとしては、売上、収益の増加から引き続き改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・以前は振袖販売が多かったが、従業員の商品セールス能力が向上したため振袖以外の着物類の販売が増え増益となつた。
(呉服販売業)
- ・人気車種のモデルチェンジにより、売上は増加している。
(自動車販売)
- ・同業者との競争による売上の減少と利益率の低下により、収益性が悪化した。
(ガス・器具販売)
- ・パート従業員の高齢化が著しく、今後、人材確保が課題となつてくる。
(飲食料品小売業)
- ・設立30周年のイベントにより、新規顧客獲得と既存顧客の囲い込みを図る。
(健康食品販売)

サービス業

業況は、売上、収益の減少により悪化となつた。

今後の見通しとしては、引き続き悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・インバウンドの取込みで昨年は順調だったが、今年はインバウンドの利用が減少しているので、販路拡大に注力していきたい。 (ビジネスホテル業)
- ・大河ドラマの効果で春先以降の宿泊客の増加を期待したい。 (宿泊業)
- ・人口も少ない地域であるため、既存顧客に口コミで広めてもらうよう宣伝している。 (理容業)
- ・雇用面においては高齢者を積極的に雇用している。 (その他サービス業)
- ・休日は接客の従業員が不足がちである。 (飲食業)

建設業

業況は、年度末が期限の公共工事や民間工事など、売上、収益の増加により、業況DIもプラス化し大幅に改善した。今後の見通しとしては、反動により悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・公共工事を中心に売上は安定している。
- ・公共工事において、以前よりも利幅の確保が難しくなっている。
- ・リフォーム工事が順調である。
- ・職人の高齢化、人手不足が経営上の問題点であり、女性を含め若手社員の働きやすい職場、環境作りを心掛けている。
- ・季節により受注量にバラツキがあるため、下請けの確保や従業員の有効活用が課題となっている。同業者間のつながりを大切にしている。
- ・依然として人手不足の状態が続いている。

不動産業

業況は、売上、収益ともに増加し業況DIもプラス化するなど、大幅に改善した。

今後の見通しとしては、売上の減少から悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・金利の低下に伴い、買い物件の需要が高い。
- ・人気エリアの地区では価格が上昇している。
- ・農地を処分したい顧客が多い。
- ・現在は分譲が主な収益源となっているが、雑誌掲載等の広告宣伝費が思いのほか嵩んでいる。
- ・宅地の商品土地は出てきているが、価格面で割高感があり、動きは鈍い。

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2017年1~3月期)						前回調査(2016年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.0%	14.9%	45.3%	27.6%	9.1%	▲ 18.8	3.3%	17.5%	45.4%	28.3%	5.5%	▲ 13.0
中部地区	4.9%	22.2%	35.4%	27.8%	9.7%	▲ 10.4	5.5%	28.5%	32.7%	24.2%	9.1%	0.6
西部地区	3.2%	19.5%	51.8%	21.2%	4.4%	▲ 2.9	2.3%	17.9%	50.1%	24.2%	5.6%	▲ 9.6
県内合計	3.3%	18.4%	47.8%	24.0%	6.5%	▲ 8.7	3.0%	19.2%	46.3%	25.4%	6.0%	▲ 9.2

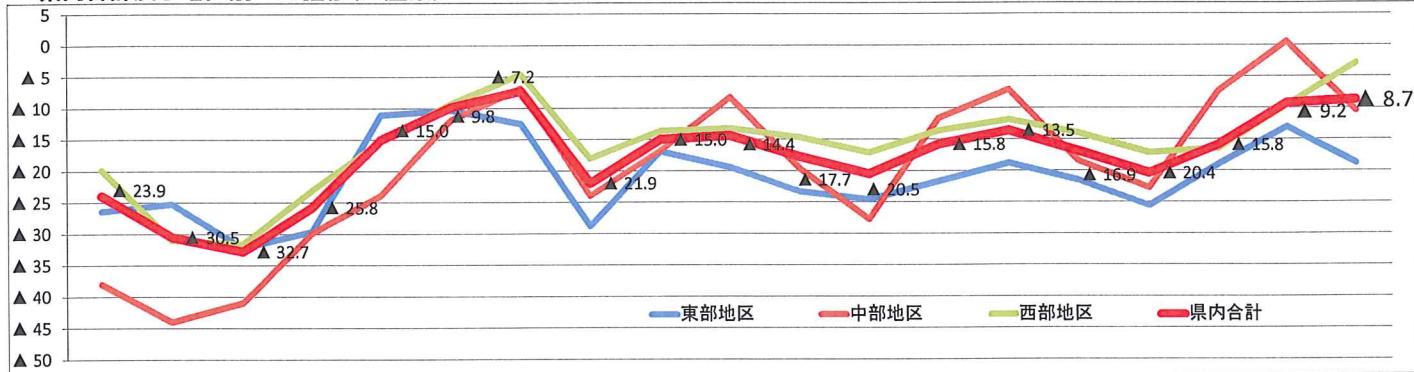
2. 業況予想(全業種)

	2017年4月~6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.9%	15.5%	51.2%	23.8%	7.5%	▲ 13.9
中部地区	4.3%	12.1%	53.2%	23.4%	7.1%	▲ 14.2
西部地区	1.7%	16.4%	54.9%	23.8%	3.3%	▲ 9.0
県内合計	2.1%	15.6%	53.6%	23.7%	5.1%	▲ 11.1

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2012年 10~12月期	2013年 1~3月期	2013年 4~6月期	2013年 7~9月期	2013年 10~12月期	2014年 1~3月期	2014年 4~6月期	2014年 7~9月期	2014年 10~12月期	2014年 1~3月期	2015年 4~6月期	2015年 7~9月期	2015年 10~12月期	2016年 1~3月期	2016年 4~6月期	2016年 7~9月期	2016年 10~12月期	2017年 1~3月期
	東部地区	▲ 25.2	▲ 32.1	▲ 29.6	▲ 11.1	▲ 10.3	▲ 12.4	▲ 28.7	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0
中部地区	▲ 44.0	▲ 40.9	▲ 29.9	▲ 23.8	▲ 11.9	▲ 6.8	▲ 23.9	▲ 16.8	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4
西部地区	▲ 30.9	▲ 31.6	▲ 23.0	▲ 15.2	▲ 9.3	▲ 4.6	▲ 18.0	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9
県内合計	▲ 30.5	▲ 32.7	▲ 25.8	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 7.2	▲ 21.9	▲ 15.0	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2017年1~3月期)						前回調査(2016年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.9%	18.6%	46.1%	20.6%	8.8%	▲ 4.9	4.9%	21.4%	46.6%	23.3%	3.9%	▲ 1.0
卸売業	0.0%	12.9%	41.9%	38.7%	6.5%	▲ 32.3	0.0%	6.5%	48.4%	41.9%	3.2%	▲ 38.7
小売業	1.1%	13.8%	33.3%	33.3%	18.4%	▲ 36.8	1.1%	16.1%	34.5%	35.6%	12.6%	▲ 31.0
サービス業	3.8%	18.9%	43.4%	30.2%	3.8%	▲ 11.3	1.9%	15.1%	50.9%	28.3%	3.8%	▲ 15.1
建設業	3.5%	14.0%	54.4%	22.8%	5.3%	▲ 10.5	0.0%	21.8%	52.7%	23.6%	1.8%	▲ 3.6
不動産業	0.0%	3.1%	65.6%	28.1%	3.1%	▲ 28.1	15.6%	15.6%	46.9%	18.8%	3.1%	9.4
全業種	3.0%	14.9%	45.3%	27.6%	9.1%	▲ 18.8	3.3%	17.5%	45.4%	28.3%	5.5%	▲ 13.0

2. 中部地区

	今回調査(2017年1~3月期)						前回調査(2016年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.3%	28.1%	24.6%	31.6%	10.5%	▲ 8.8	7.1%	30.0%	24.3%	27.1%	11.4%	▲ 1.4
卸売業	0.0%	11.1%	50.0%	33.3%	5.6%	▲ 27.8	0.0%	38.1%	33.3%	23.8%	4.8%	9.5
小売業	5.3%	10.5%	42.1%	21.1%	21.1%	▲ 26.3	0.0%	11.1%	44.4%	38.9%	5.6%	▲ 33.3
サービス業	10.0%	25.0%	30.0%	35.0%	0.0%	0.0	12.0%	16.0%	44.0%	24.0%	4.0%	0.0
建設業	0.0%	22.7%	40.9%	22.7%	13.6%	▲ 13.6	0.0%	35.0%	35.0%	10.0%	20.0%	5.0
不動産業	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	37.5	9.1%	45.5%	36.4%	9.1%	0.0%	45.5
全業種	4.9%	22.2%	35.4%	27.8%	9.7%	▲ 10.4	5.5%	28.5%	32.7%	24.2%	9.1%	0.6

3. 西部地区

	今回調査(2017年1~3月期)						前回調査(2016年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.6%	19.1%	48.3%	23.1%	4.9%	▲ 4.3	1.8%	20.9%	45.5%	25.5%	6.2%	▲ 8.9
卸売業	2.4%	14.6%	58.5%	15.9%	8.5%	▲ 7.3	1.2%	19.5%	45.1%	26.8%	7.3%	▲ 13.4
小売業	0.0%	19.2%	45.2%	30.1%	5.5%	▲ 16.4	1.4%	12.5%	48.6%	29.2%	8.3%	▲ 23.6
サービス業	2.0%	12.2%	61.2%	22.4%	2.0%	▲ 10.2	4.1%	20.4%	57.1%	14.3%	4.1%	6.1
建設業	3.7%	29.3%	50.0%	15.9%	1.2%	15.9	4.9%	9.8%	64.6%	18.3%	2.4%	▲ 6.1
不動産業	0.0%	21.8%	65.5%	12.7%	0.0%	9.1	1.8%	14.5%	58.2%	23.6%	1.8%	▲ 9.1
全業種	3.2%	19.5%	51.8%	21.2%	4.4%	▲ 2.9	2.3%	17.9%	50.1%	24.2%	5.6%	▲ 9.6

4. 県内合計

	今回調査(2017年1~3月期)						前回調査(2016年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.0%	20.0%	45.0%	23.6%	6.4%	▲ 5.0	3.2%	22.3%	42.8%	25.3%	6.4%	▲ 6.2
卸売業	1.5%	13.7%	53.4%	23.7%	7.6%	▲ 16.0	0.7%	19.4%	44.0%	29.9%	6.0%	▲ 15.7
小売業	1.1%	15.6%	39.1%	30.7%	13.4%	▲ 27.4	1.1%	14.1%	41.2%	33.3%	10.2%	▲ 28.2
サービス業	4.1%	17.2%	48.4%	27.9%	2.5%	▲ 9.0	4.7%	17.3%	52.0%	22.0%	3.9%	▲ 3.9
建設業	3.1%	23.0%	50.3%	19.3%	4.3%	2.5	2.5%	17.2%	56.7%	19.1%	4.5%	▲ 3.8
不動産業	1.1%	15.8%	65.3%	16.8%	1.1%	▲ 1.1	7.1%	18.4%	52.0%	20.4%	2.0%	3.1
全業種	3.3%	18.4%	47.8%	24.0%	6.5%	▲ 8.7	3.0%	19.2%	46.3%	25.4%	6.0%	▲ 9.2

資料 3

・業種別予想

1. 東部地区

	2017年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.9%	16.7%	52.9%	24.5%	2.9%	▲ 7.8
卸売業	0.0%	16.1%	51.6%	29.0%	3.2%	▲ 16.1
小売業	1.2%	12.8%	45.3%	26.7%	14.0%	▲ 26.7
サービス業	3.8%	11.3%	54.7%	22.6%	7.5%	▲ 15.1
建設業	1.8%	15.8%	49.1%	22.8%	10.5%	▲ 15.8
不動産業	0.0%	25.0%	59.4%	12.5%	3.1%	9.4
全業種	1.9%	15.5%	51.2%	23.8%	7.5%	▲ 13.9

2. 中部地区

	2017年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.7%	14.8%	59.3%	18.5%	3.7%	▲ 3.7
卸売業	0.0%	0.0%	55.6%	27.8%	16.7%	▲ 44.4
小売業	0.0%	5.3%	57.9%	31.6%	5.3%	▲ 31.6
サービス業	10.0%	15.0%	45.0%	30.0%	0.0%	▲ 5.0
建設業	4.5%	9.1%	45.5%	22.7%	18.2%	▲ 27.3
不動産業	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	37.5
全業種	4.3%	12.1%	53.2%	23.4%	7.1%	▲ 14.2

3. 西部地区

	2017年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.8%	17.0%	53.1%	23.8%	3.4%	▲ 7.4
卸売業	1.2%	18.3%	52.4%	23.2%	4.9%	▲ 8.5
小売業	1.4%	19.2%	46.6%	27.4%	5.5%	▲ 12.3
サービス業	0.0%	6.1%	69.4%	22.4%	2.0%	▲ 18.4
建設業	0.0%	17.1%	54.9%	25.6%	2.4%	▲ 11.0
不動産業	0.0%	14.5%	67.3%	18.2%	0.0%	▲ 3.6
全業種	1.7%	16.4%	54.9%	23.8%	3.3%	▲ 9.0

4. 県内合計

	2017年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.9%	16.7%	53.8%	23.3%	3.3%	▲ 7.1
卸売業	0.8%	15.3%	52.7%	25.2%	6.1%	▲ 15.3
小売業	1.1%	14.6%	47.2%	27.5%	9.6%	▲ 21.3
サービス業	3.3%	9.8%	59.0%	23.8%	4.1%	▲ 14.8
建設業	1.2%	15.5%	51.6%	24.2%	7.5%	▲ 14.9
不動産業	1.1%	20.0%	62.1%	15.8%	1.1%	4.2
全業種	2.1%	15.6%	53.6%	23.7%	5.1%	▲ 11.1